

音楽科学習指導案

令和6年9月20日(金)

第4校時 13時10分～14時00分

1年B組 36名

指導者 門脇 舞

- 1 題材名 作曲家の心を動かそう～曲想や歌詞、声部の役割との関わりを考えた表現の工夫～
教材名 『花がほほえむ』 宮下奈都作詞・三宅悠太作曲

2 単元設定の理由

(1) 教材について

・作曲者が、作詞者の小説に感銘を受け、「今を生きる中学生へ届けたい言葉を」と依頼して生まれた混声3部の合唱曲である。曲は大きく3つのまとまりとなっており、基本は4分の4拍子だが、最後は4分の3拍子や4分の2拍子が盛り込まれ、印象付ける構成である。旋律は繊細かつ力強い言葉の語感を生かしてつくられており、その音程やリズムの変化に注目して表現を深めることができる。

・強弱記号、表情記号が細かく記されているので、歌詞との関連も考えた表現に繋げやすい。また、音域やリズム、主旋律を理解し、パートのバランスも考えながら演奏する必要がある。最初と最後はユニゾンなので、一体感を持って演奏しやすい曲である。ユニゾンの部分は、倍音が出ることも期待できる。

・主旋律がユニゾン、2パート、1パートと形を変えて演奏されるので、全員が主役になることができる。伴奏は合唱を支え、時には気持ちの高まりを誘導し、4つ目のパートとして重要な役割をもっている。伴奏の音型の変化も感じながら歌うことを味わうことができる。

(2) 学習者について

・合唱曲については、落ち着いた雰囲気曲を好む生徒が多く、音楽だけでなく歌詞にも注目して学習することができている。昨年度は年間通して歌唱活動ができており、呼吸法をはじめとした歌唱の基礎力がついてきた。また、意欲をもって授業に参加することで、知識を生かした技能の習得にも繋がり、強弱表現や響きのある歌声で歌えるようになりつつある。

・7月に実施した教科アンケートにおいて、歌曲の学習を通して、曲想を意識して歌う力、歌詞から風景を想像する力、情景を思い浮かべて歌う力、旋律だけでなく歌詞からも歌い方を工夫する力がついてきたと感じている。そして、歌唱テストでは、情景を思い浮かべながら表情豊かに歌い上げる生徒が多く見られた。今年は歌詞や思いを伝え、聴いている人の心を動かす演奏がしたいと考えている。

・本学級は歌唱を得意としている生徒、合唱の楽しさを味わうことができている生徒が多く、学年では46.2%の生徒が歌唱活動を一番楽しいと感じている。パート練習では、分からないことを聞いたり、意見を出し合ったりすることができており、満足感も得られている。

(3) 指導について

・呼吸法や発声は継続的な指導が必要であり、表現を深めていく中でも随時、呼吸や発声には触れて指導していく。伴奏との融合、それに伴う呼吸のタイミングや速さも考えさせたい。また、曲想や詩の内容に合った声質・ニュアンスを考えさせたい。

・旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、歌詞との関連も考えて表現を深めさせたい。そして、作曲者と作詞者の思いを歌詞や楽譜から読み取る力、なぜその強弱記号なのかなど疑問をもって考えることも定着させたい。詩の内容を生かした表現に繋げるため、ワークシートで思考を深めていく。

・多くの生徒は、一体感のある合唱をつくりあげることが目標としており、そのためには互いに聴きあってパートのバランスを考えることや歌詞の意味を考えて表情豊かに歌うことが大切であることを理解している。個人、パート、全体で考えや表現方法を共有し、音楽の中でどのように言葉を生かし、合唱としてつくりあげていくのかを考えさせたい。

単元プランシート(音楽科2年)

実施時期 8~10月

題材名	作曲家の心を動かそう~曲想や歌詞,声部の役割との関わりを考えた表現の工夫~	
題材の目標	曲にふさわしい歌唱表現を楽譜や歌詞から作曲者と作詞者の意図を読み取り,いろいろな表現方法を考える活動を通して,創意工夫して歌うことができる。	
評価規準	知・技	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ② 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声,言葉の発音,身体の使い方などの技能を身に付けている。 ③ 創意工夫を生かし,全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。
	思・判・表	① 旋律,テクスチャ,強弱を知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り,その関わりについて考えている。 ② 知覚・感受したこととの関わりについて考え,どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	主体	①曲想や歌詞の内容,声部の役割と全体の響きなどに関心を持ち,音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。

時間	学習内容	評価計画		
		知・技	思・判・表	主体
1	○曲との出会い 詩の内容,曲の特徴を感じ取る パートの音程と音の長さを正確に覚える①	① ワークシート		
2	○パートの音程と音の長さを正確に覚える②			① ワークシート
3	○楽譜や歌詞から作曲者と作詞者の思いを読み取る	① ワークシート	① ワークシート	
4 (本時)	○読み取ったことをどのように歌いたいと考え,パートで表現を深める(発音,発声)	② 観察	② ワークシート	
5	○表現を深めるうえで必要な技能(強弱や発音,発声)を意識して歌う	② 観察		
6	○言葉の抑揚と旋律を活かした表現をする(詩の内容に合った声)	② 観察 ワークシート	② ワークシート	
7	○パートのバランスを考え,美しいハーモニーをつくる	③ 観察		
8	○聴いている人の心に響く合唱をつくり上げる	③ 観察 ワークシート		① ワークシート

評価基準(思考・判断・表現について)	
B	A
歌詞の内容や曲想を感じ取るとともに,表したい思いや意図を持ち,旋律・テクスチャ・強弱の働かせ方を試行錯誤し,表現を工夫している。	歌詞の内容や曲想を味わうとともに,表したい思いや意図を持ち,旋律・テクスチャ・強弱・音色(声色)の働かせ方を試行錯誤し,曲にふさわしい表現を工夫している。

様式3 本時の指導

(1) 本時の位置づけ(4/8)

(2) 題材名 言葉の意味や語感を生かした表現をしよう

(3) 本時のねらい

表現方法を、作曲者・作詞者の思いを読み取り、どのように歌いたいかについて考えるとともに、歌詞やリズム、音程の違いから表現を工夫する活動を通して、見出すことができる。

(4) 展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価
10	1 本時のめあてと学習内容を確認する。	○本時のめあてと本時の学習内容を確認する。	
		言葉の意味や語感を生かした表現をしよう ○パートで考えをまとめる。 ○パートで練習する内容を全体に伝える。	
15	2 パートで表現の工夫をする。	○パート練習をさせる。 ・2連と4連の歌詞の違いやリズム、音程の違いを表現できるようにする。 <予想される内容> 2連「やさしくなりたい 強く生きたい」 4連「ありったけの勇気を 勇気を出して」 *4連の方がより気持ちが強い言葉 2連は legato, 4連は marcato 気味に歌う。 音の跳躍, リズムにも変化が見られる。 (付点, 16分音符, シンコペーション, 休符) 2連「あなたが～みていたから」 4連「それぞれの道～まじわったらいいな」 *4連の方がより気持ちが高まり, 前向きな言葉 2連は深い声, 4連は8分休符を生かし, 明るい声で歌う。 音の跳躍, リズム(16分音符と8分の違い, 休符)	
12	3 各パート発表, アドバイスをする。	○パート別の発表を聴き, アドバイスをする。 (数名発表)	
8	4 再度パート練習をする。	○アドバイスされたことを意識して練習する。	
5	5 振り返りを行う。	○本時のめあてに対する振り返りをさせる。 表現を深めていくうえで考えたこと, 工夫したことを記入する。	[ワークシート] イー②

(5) 本時の評価基準

評価基準(思考・判断・表現について)	
B	A
歌詞の内容や曲想を感じ取るとともに, 表したい思いや意図をもち, 旋律・テクスチャ・強弱の働かせ方を試行錯誤し, 表現を工夫している。	歌詞の内容や曲想を味わうとともに, 表したい思いや意図をもち, 旋律・テクスチャ・強弱・音色(声色)の働かせ方を試行錯誤し, 曲にふさわしい表現を工夫している。